

党精神の鋼鉄化、党内統一の鋼鉄化、党政策の樹立と本質とする兩方方針の決定と要求する各
め移り事項と方針書の中に露揚形跡を以てしることと望む

1、党幹部に対する後方信任

大衆デモクラシーの止むに止まらずに露揚形跡樹立への鋼鉄の意を行動の上に移す能く責任者
たる党幹部と党内にあつては其の全第一の最高目標をたらしめ党外に對しては未組織大衆の
最後の指導者たらしめらるることなくしてその責任の履行を要求することは決して出来ない。

吾等は党幹部を決定し去りし以上之を後方信任し吾等の全打に於て「最高目標」「露揚形跡」指
導者」をたらしむべきである、黨員大衆と党幹部との間に一寸一毫の距離があつてはならぬ
党幹部の闘争の意気と迫力の中へ全黨員の魂を込めるところなく果中すべきである、党幹部
後方信任の一項は最も重大なるものとして最利に扱はるべきである。

2、労農組合の党に対する密着化

党内の不統一混同は往々にして労農組合の対立より生ずることがある。これでは党内一致
の活動力を減殺することになる。労農組合は党の中核、戦線第一に進進し党本其戦線統一の
中心努力となり未嘗有り密着化を工作すべきである。
吾等は過去の失敗を通じてより頂之方針中に強調すべきことを求める。

3、公式論の精練

公式論が過去に於ける解放運動を因り五段に終らしめ、党内党精神を樹立し導き對外信託
と未成熟に陥らしめたることは言ひまでもない吾等は之より一歩前進して具体的技術工作に
全力を傾倒すべきであると信ずる。

4、技術工作の専門機関の設置

党運動の工学的専門技術家の工作が母至の義務であることは前項に於て述べたところである
こゝに於て「ブレイントラスト」の要ありとするものである。党内外を問はず技術工作
方面の権威者を集めて創案、諮問又は調査に當らしむべきである、制度は党常任執行委員
会の専断によるものとす。

5、黨員の大衆的組織方針の確立

党内の行動動員の不活発となりたるは全国的であると思ふ、ボスター、ドラの責任とすう
回遊せしとする傾向が強くなつた、これにては党活動の圧力が死滅するばかりである
大衆動員の基礎を確立しないから、この弊に陥らざらんと信ずる、大衆動員の基礎は労農組
合反戦場に置くべきである、黨員は労農組合内の強化拡大に全力を等けると同時に組織、
未組織階級單位の介会と地域介会とが存在せしめ常に準備隊と動員隊の二隊に之を補充し急
要に應ずる用意を為すべきである。